

I

暮らしづくり

～便利で快適な質の高い生活ができるまち～

- ① 安全で安心につつまれた生活の確保
- ② 健やかで心安らかな暮らしの充実
- ③ 利便性の高い生活基盤の整備
- ④ 自然と調和した生活空間の創造

① 防災・減災対策の強化

新規	国土強靱化地域計画策定事業費	418万円
		(前年度) -
担当課	地方創生推進課	電話番号 74-8011
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>平成25年に国土強靱化基本法が施行され大規模自然災害等に備えた強靱な国づくりを総合的・計画的に推進するため、「国土強靱化基本計画」等が策定されました。これにより、市町村においても法第13条に基づき国土強靱化地域計画の策定の促進を図ることとされています。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>強くなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法に基づき、国土強靱化地域計画を策定します。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>どのような大規模自然災害等が起こっても機能不全に陥らない、「強靱な地域」をつくりあげるためのプランを策定します。</p>		
(単位: 万円)		
財源	市の負担	418
経費内訳	委託料	412
	その他	6

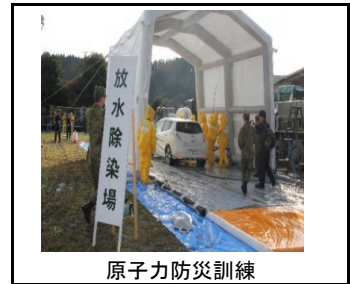


継続	防災対策事業費	2,332万円
		(前年度) 3,611万円
担当課	地域防災課	電話番号 74-8021
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>全国で毎年大規模な災害が発生しており、本市においても、地震・津波、風水害、土砂災害、原子力災害などの様々な災害が想定され、いずれも大規模な被害が予測されています。</p> <p>このような状況の中、迅速・確実な情報伝達、避難場所・避難所の整備が求められています。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>防災行政無線の管理運用を行うとともに、情報伝達手段の充実により、市の防災・危機管理体制の強化を図ります。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>機材の性能向上及び伝達手段の多重化により、防災情報をより迅速かつ確実に伝達します。</p>		
(単位: 万円)		
財源	市の負担	2,332
経費内訳	委託料	1,133
	工事請負費	143
	その他	1,056



① 防災・減災対策の強化

継続	防災力向上事業費	1,994万円			
		(前年度)	2,133万円		
担当課 地域防災課		電話番号	74-8021		
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>全国で発生する大規模な災害における対応は、被災した自治体の教訓から、行政での対応には限界があり、広域な受援体制のほか、「自らの命・地域は自ら守る」自助・共助の重要性が増しており、地域・個人ごとの防災力の向上が求められています。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>市の各地域にある指定避難所に備蓄倉庫を設置し、市の備蓄品を分散配置するとともに、防災訓練による関係機関・地域との連携の強化及び防災士の資格取得助成による防災リーダーの育成等により、市民・各地区の防災力の向上を図ります。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>(1) 備蓄倉庫を分散配置(6ヶ所の指定避難所を予定)します。</p> <p>(2) 市の総合防災訓練、地区防災訓練、原子力防災訓練等を実施します。</p> <p>(3) 防災士の育成目標: 25人</p>					
(単位: 万円)					
財源	市債	360	経費内訳	消耗品費	495
	その他	313		補助及び交付金	430
	市の負担	1,321		その他	1,069



新規	指定避難所耐震化事業費	4,793万円			
		(前年度)	-		
担当課 地域防災課		電話番号	74-8021		
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>地震等により、住宅を失った市民が一定期間避難生活をする指定避難所の耐震化を進めるなど、大規模地震の発生に備える必要があります。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>碓石地区住民の指定避難場所である碓石公民館体育館の耐震補強工事を行います。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>指定避難所の見直しや耐震化を進め、指定避難所において耐震基準が満たされることを目指します。</p>					
(単位: 万円)					
財源	市債	4,790	経費内訳	工事請負費	4,616
	市の負担	3		委託料	177



① 防災・減災対策の強化

拡充	原子力災害時避難円滑化モデル実証道路改良事業費	7,400万円
		(前年度) 9,000万円
担当課	道路課	電話番号 74-8074

1. 本市の現状と課題
氷見運動公園は原子力災害時に避難退域時検査場の候補地として指定され、そのアクセス道路となる市道環状南線は近年のゲリラ豪雨等により大雨の際は冠水により通行止めを余儀なくされている。


2. 令和2年度事業の内容
市道環状南線かさ上げ工事 L=260m

3. 目標値または実施により求める効果
被災時におけるアクセス機能を早急に確保し、平時・有事を問わず円滑な交通を確保します。

(単位: 万円)

財源	県の負担	7,400	経費内訳	工事請負費	7,030
				委託料	370

(単位: 万円)



冠水対策が必要な 環状南線(大浦)

拡充	原子力災害時避難円滑化モデル実証公園整備事業費	2,400万円
		(前年度) 1,000万円
担当課	都市計画課	電話番号 74-8076

1. 本市の現状と課題
氷見運動公園は、広大な土地を有する検査場所候補地であるが、公園内道路が狭いこと、大型バスの検査ができる舗装された場所が限られていることから、現時点での検査導線では、自家用車とバスの検査会場を別々としています。


2. 令和2年度事業の内容
原子力災害時に富山県民に加え石川県民の避難退域時検査場所候補地となる氷見運動公園内の検査場所を整備します。

3. 目標値または実施により求める効果
自家用車とバスが同じ場所で検査できる検査場所を整備し、検査導線を一筆書きすることで、検査要員の効率化、検査時間の短縮化など、住民の避難円滑化を図ります。

(単位: 万円)

財源	県の負担	2,400	経費内訳	工事請負費	2,400

(単位: 万円)



氷見運動公園

② 消防・救急救助体制等の充実

継続	救急救命士研修派遣費	252万円			
		(前年度) 252万円			
担当課	消防総務課	電話番号 30-7114			
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>救命率の向上と救急業務の高度化を目的に救急救命士制度が創設され、救急救命士を確保するために有資格者の採用や研修所に派遣しています。</p>					
<p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>研修派遣計画に基づき、研修所に1名を派遣し有資格者の確保を図ります。</p>					
<p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>すべての救急隊に救急救命士を配置し、高度な救急処置を行うことにより救命率の向上が図られます。</p>					
(単位:万円)					
財源	市の負担	252	経費内訳	負担金	206
					旅費
				その他	18



救命講習の様子

拡充	地区防災センター整備事業費	3,456万円				
		(前年度) 204万円				
担当課	消防総務課	電話番号 30-7114				
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>地域における消防力を確保するため、各地区に消防・防災の拠点施設として地区防災センターが整備されていますが、建物の長寿命化や老朽化等により計画的な整備や改修が必要となっています。</p>						
<p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>一般国道415号バイパス事業に伴い、上庄地区防災センターの移設新築工事及び旧建物の解体工事を行います。</p>						
<p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>消防・防災の拠点施設である地区防災センターを整備することにより、消防力の機能の強化が図られ地域の「安全・安心」を確保します。</p>						
(単位:万円)						
財源	諸収入	1,834	経費内訳	工事請負費	3,349	
	市債	1,620			委託料	105
	市の負担	2			その他	2



現在の上庄地区防災センター

② 消防・救急救助体制等の充実

継続	消防自動車購入費	1,733万円			
		(前年度)	2,385万円		
担当課 消防総務課		電話番号	30-7114		
1. 本市の現状と課題					
市内の消防分団には、火災等に対応するため消防ポンプ自動車を配備していますが、その中には導入からかなりの年月が経過し、老朽化が著しい車両もあります。修理部品も入手困難となっており、機能の低下により消防活動に支障をきたす恐れもあることから、計画的な更新が必要です。					
2. 令和2年度事業の内容					
老朽化が著しい久目分団の消防ポンプ自動車を更新し、最新鋭の消防ポンプ自動車を配備します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
最新鋭の消防ポンプ自動車を配備し消防力の維持・強化を図ることで市民の安全・安心につなげます。					
(単位:万円)					
財源	市債	1,730	経費内訳	備品購入費	1,726
	市の負担	3		旅費	6
			保険料	1	




消防ポンプ自動車(CD-I型)


継続	石油貯蔵施設立地対策等事業費	303万円			
		(前年度)	350万円		
担当課 消防総務課		電話番号	30-7114		
1. 本市の現状と課題					
火災等の災害活動時、隊員の安全管理・安全装備は必要不可欠となっていますが、その装備品の中には導入からかなりの年月が経過し、機能が低下した装備品があることから計画的な更新が必要です。					
2. 令和2年度事業の内容					
現在着用している防火衣が、経年劣化により防火性能が著しく低下しており、消火活動時の安全確保のために順次更新します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
防火衣を整備することで、隊員の身体的かつ精神的な負担を軽減し、活動時の安全性を高めることで消防力の充実強化が図られます。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	220	経費内訳	備品購入費	303
	市の負担	83			




防火衣一式

② 消防・救急救助体制等の充実


拡充	消防出張所整備事業費	3億1,310万円		
		(前年度)	1,334万円	
担当課 消防総務課		電話番号	30-7114	
1. 本市の現状と課題				
消防・救急救助業務が多様化、複雑化していることから、市民の生命・財産を守るため、消防・救急救助体制、機能の強化が求められています。				
2. 令和2年度事業の内容				
消防・救急救助体制の強化を図るため、広域消防の推進にあわせ、柳田地区に消防出張所を整備します。				
3. 目標値または実施により求める効果				
市南部地区において、現場到着時間が短縮され、より早く消火活動や救急活動に着手できます。				
		(単位:万円)		
財源	市債	31,300	経費内訳	
	市の負担	10		
			工事請負費	23,783
			公有財産購入費	5,800
			その他	1,727
				


新規	高岡市・氷見市消防広域化事業費	8,484万円		
		(前年度)	-	
担当課 消防総務課		電話番号	30-7114	
1. 本市の現状と課題				
消防は災害や事故の多様化及び大規模化、都市構造の複雑化、住民ニーズの多様化等の環境の変化に的確に対応し、市民の生命、身体及び財産を守る責務があります。消防体制の強化のため、高岡市と令和3年4月1日の消防広域化実施に向け協議を進めています。				
2. 令和2年度事業の内容				
消防広域化に伴い、指令センターシステムの改修や無線局の承継、表示の変更等の必要な整備を実施します。				
3. 目標値または実施により求める効果				
消防広域化により、出動部隊数が増加することから、初動体制の強化が図られます。また現場到着時間の短縮が図られ、現状より早く消火活動に着手し、被害が軽減されることが期待できます。				
		(単位:万円)		
財源	市債	7,720	経費内訳	
	市の負担	764		
			負担金	7,798
			備品購入費	487
			その他	199
				

② 消防・救急救助体制等の充実

新規	消防庁舎女性職員用施設整備事業費		985万円
			(前年度) -
担当課	消防総務課	電話番号	30-7114
1. 本市の現状と課題			
<p>全国の消防吏員全体に占める女性の割合は、警察、自衛隊、海上保安庁と比較して最も低水準となっており、氷見市においては、女性用施設が整備されていないこともあり、女性消防吏員の採用実績はありません。今後、多様なニーズに対応するためにも女性消防吏員の採用が必要です。</p>			
2. 令和2年度事業の内容			
<p>消防庁舎に女性専用の更衣室、浴室、仮眠室などを整備します。また、女性消防吏員の採用に向けPR活動を実施します。</p>			
3. 目標値または実施により求める効果			
<p>消防吏員に占める女性消防吏員の比率を国が設定している数値目標の5%とし、女性消防吏員が住民サービスを提供することで、子供や高齢者、災害時の要支援者等、多様な住民ニーズへの対応力が向上します。</p>			
(単位:万円)			
財源	市の負担	985	経費内訳
			105
			
		女性消防吏員	

③ 災害に強い地域づくり

継続	地域ぐるみ除排雪促進事業費	300万円			
		(前年度) 300万円			
担当課 地域振興課		電話番号 74-8013			
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>冬期間の中山間地域では、地域内の狭い道路に通常の除雪機が入れないほか、ひとり暮らし高齢者の自宅では、除排雪を行うことができないため、日常生活に支障をきたしています。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>公共用道路の除排雪や、自力での除排雪が困難な高齢者世帯の除排雪支援を行う4地区の自治会に対して、冬期間における交通の確保や生活環境の向上のために、市が除雪機を4台購入し、その貸付を行います。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>冬期間における地域の安全・安心を確保します。</p>					
(単位:万円)					
財源	市債	280	経費内訳	備品購入費	300
	市の負担	20			
					
			自治会に対する除雪機の貸与		

拡充	県単治山事業費	2,580万円			
		(前年度) 2,250万円			
担当課 ふるさと整備課		電話番号 30-7071			
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>市内には長年の風雨により荒廃した山地があり、そこから生じる山地災害により公共施設や住宅へ被害を及ぼす危険があります。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>吉滝地区ほか3地区について、山腹工等の治山工事を実施し、山地の安定を図ります。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>山地災害の復旧を図り、被害を防ぐことにより、安心した生活を確保します。</p>					
(単位:万円)					
財源	県の負担	875	経費内訳	工事請負費	2,250
	市債	1,670		委託料	300
	市の負担	35		修繕料	30
					
			治山事業による保護(法枠工)		

③ 災害に強い地域づくり


継続	余川川防災ダム管理事業費		1,199万円	
			(前年度) 1,140万円	
担当課	ふるさと整備課	電話番号	30-7071	
1. 本市の現状と課題				
昭和52年4月より、富山県から余川川の農業用ダムの管理委託を受け、大雨時の河川流量の調整を行っています。				
2. 令和2年度事業の内容				
余川川防災ダム管理事業委託 1式				
3. 目標値または実施により求める効果				
余川川下流域の氾濫等による洪水被害を防ぎ、安心した生活を確保します。				
		(単位:万円)		
財源	県の負担	600	経費内訳	
	市の負担	599		
			委託料	398
			光熱水費	66
			その他	735




拡充	県営中山間地域防災減災事業費負担金		5,930万円	
			(前年度) 3,960万円	
担当課	ふるさと整備課	電話番号	30-7011	
1. 本市の現状と課題				
市内には令和元年5月の基準見直しに伴い、現在180箇所の防災重点ため池があります。 地震等により堤体が決壊した場合、周辺の人家や公共施設等に甚大な被害をもたらす危険性があります。 しかし、ため池の整備には多額の費用と相当の期間が必要となります。				
2. 令和2年度事業の内容				
新保大池(継続)、加納新池(継続)、島山池(継続)、石仏池(継続)、谷内山池(継続)、 千元池(新規)、谷内田池(新規)の改修を行います。				
3. 目標値または実施により求める効果				
災害を未然に防止するとともに農業生産の維持と農業経営の安定を図ります。				
		(単位:万円)		
財源	市債	5,930	経費内訳	
			負担金	5,930



③ 災害に強い地域づくり

継続	ため池耐震性調査事業費	1,201万円			
		(前年度)	4,601万円		
担当課 ふるさと整備課		電話番号	30-7011		
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>老朽化が進むため池は、地震等により堤体が決壊する恐れがあり、周辺の人家、公共施設等に甚大な被害をもたらす恐れがあります。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>谷屋大池(谷屋)、大城後池(柿谷)の耐震性調査を行います。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>ため池の耐震性を確保し、防災・減災機能を強化します。</p>					
(単位:万円)					
財源	県の負担	1,200	経費内訳	委託料	1,201
	市の負担	1			
			 <p>ため池堤体の土質調査(イメージ)</p>		

新規	農道個別施設計画策定事業費	154万円			
		(前年度)	-		
担当課 ふるさと整備課		電話番号	30-7011		
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>老朽化が進む農道施設(橋りょう)の補修を計画的に行い、橋りょうの長寿命化を推進し、安全・安心な生活環境と交通環境を確保する必要があります。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>三矢水門橋(稲積)、指崎2号農道橋(指崎)の長寿命化を図るための個別施設計画を策定します。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>老朽化が進む農道施設(橋りょう)の長寿命化を推進することによって、安全・安心な生活環境と交通環境を確保します。</p>					
(単位:万円)					
財源	市の負担	154	経費内訳	委託料	154
			 <p>指崎2号農道橋</p>		

③ 災害に強い地域づくり

継続	市単河川改修事業費	3,267万円			
		(前年度)	2,735万円		
担当課 ふるさと整備課		電話番号	30-7071		
1. 本市の現状と課題					
市内には、出水時に慢性的な浸水被害を受けている地区があり、その原因となっている河川の改修を進める必要があります。					
2. 令和2年度事業の内容					
泉川(下田子地内)ほか6河川について、河道の掘削や護岸工事を行い、紅谷川では改修のための測量設計を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
大雨による浸水被害の解消を図り、安心して暮らせる環境を整備します。					
(単位:万円)					
財源	市債	3,260	経費内訳	工事請負費	2,450
	市の負担	7		委託料	770
				その他	47




改修された河川(護岸整備)


拡充	緊急浸水対策事業費	1,262万円			
		(前年度)	538万円		
担当課 ふるさと整備課		電話番号	30-7071		
1. 本市の現状と課題					
平成29年7月1日の豪雨災害を受け、明らかとなった浸水対策の課題に対応するため、浸水した地区の具体的な浸水対策が求められています。					
2. 令和2年度事業の内容					
浸水対策協議会にて検討された対策案を元に、短期対策として大浦地区の水路整備及び必要な測量設計を行います。					
また、園地区において、短期対策を検討するため詳細調査を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
調査を基に立案された浸水対策を実施することで、浸水被害の早期軽減を図ります。					
(単位:万円)					
財源	市債	770	経費内訳	委託料	620
	市の負担	492		工事請負費	600
				その他	42



豪雨による浸水(道路)

③ 災害に強い地域づくり

継続	急傾斜地崩壊防止対策事業費	3,029万円			
		(前年度)	1,937万円		
担当課 ふるさと整備課		電話番号	30-7071		
1. 本市の現状と課題					
市内においては急傾斜地に隣接する家屋がおよそ二千軒あり、土砂災害による市民及び住宅への影響を未然に防ぐことが求められています。					
2. 令和2年度事業の内容					
小杉地区の急傾斜地に対し、崩壊防止のための対策工事を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
土砂災害の危険から市民の生命と財産を守り、安心して暮らせる生活環境の確保を図ります。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	1,495	経費内訳	工事請負費	2,990
	市債	1,490		その他	39
	市の負担	44			
					
			対策工事例(大型ブロック)		

継続	除雪対策事業費	1億796万円			
		(前年度)	1億500万円		
担当課 道路課		電話番号	30-7070		
1. 本市の現状と課題					
地形の関係により、地域により降雪状況が異なるため、きめ細かく除雪を行う必要があります。					
2. 令和2年度事業の内容					
除雪計画を立て、きめ細やかな除雪の実施により、冬期間の円滑な交通の確保を図ります。					
3. 目標値または実施により求める効果					
冬期の市民の日常生活や事業活動に支障を及ぼさないよう、適切な除排雪を実施し、安全、円滑な交通を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	1,440	経費内訳	賃借料	5,160
	その他	2		委託料	2,607
	市の負担	9,354		その他	3,029
					
			除雪の様子		

③ 災害に強い地域づくり

継続	消雪施設リフレッシュ事業費	3,150万円	
		(前年度)	3,150万円
担当課 道路課		電話番号 30-7070	
1. 本市の現状と課題			
市内の消雪施設は、大半が設置後20年を経過しているため、配管の漏水や散水不良による不具合が生じています。このため、老朽化した消雪施設の改修や更新が必要となっています。			
2. 令和2年度事業の内容			
北大町第二工区(北大町地内)について、昨年に引き続き散水管の布設替を行います。			
3. 目標値または実施により求める効果			
老朽化した消雪施設を更新することにより、冬期間の円滑な交通環境を確保します。			
		(単位:万円)	
財源	国の負担	1,800	経費内訳
	市債	1,350	
		3,000	工事請負費
		150	その他



更新した消雪パイプ

継続	地域ぐるみ除排雪促進事業費	748万円	
		(前年度)	652万円
担当課 道路課		電話番号 30-7070	
1. 本市の現状と課題			
地域における生活道路や幅員の狭い道路についても、確実に除排雪を行わなければなりません。市直営では行き届かない面があるため、地域協働の観点から地域ぐるみの除排雪を推進する必要があります。			
2. 令和2年度事業の内容			
藪田・阿尾地区に貸与している小型除雪機械が、購入から20年以上経過しているため更新を図ります。			
3. 目標値または実施により求める効果			
地域ぐるみの除排雪に対する支援を行うことにより、地域における冬期間の円滑な交通環境を確保します。			
		(単位:万円)	
財源	県の負担	249	経費内訳
	市債	490	
	市の負担	9	
		746	備品購入費
		2	保険料



小型ホイールローダー

③ 災害に強い地域づくり

継続	除雪機械購入事業費		1,004万円		
			(前年度) 4,067万円		
担当課		道路課	電話番号 30-7070		
1. 本市の現状と課題					
中山間地に配備されている除雪機械を、リース車から市有車に切り替え、リース期間外の降雪に対応します。					
2. 令和2年度事業の内容					
タイヤショベル6t級、1台を購入します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
不足する除雪機を新たに配備することにより、冬期間の円滑な交通環境を確保します。					
(単位:万円)					
財源	市債	900	経費内訳	備品購入費	1,003
	市の負担	104		保険料	1



継続	道路構造物補修事業費		2,967万円		
			(前年度) 2,200万円		
担当課		道路課	電話番号 30-7070		
1. 本市の現状と課題					
市内の道路構造物(トンネル、橋梁、BOXカルバート)は、老朽化が進んでおり、定期的に点検を行っています。この定期点検で不都合のあった箇所については、早急に対応する必要があります。					
2. 令和2年度事業の内容					
前回点検から5年目となる七分一大橋他19橋について、目視による定期点検を行います。					
桜峠隧道と八幡トンネルについて、補修設計及び補修工事を実施します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
道路構造物の定期点検により、損傷箇所の早期発見・早期対応に努め、安全・安心な交通環境を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	1,540	経費内訳	委託料	1,800
	市債	760		工事請負費	1,100
	市の負担	667		その他	67



③ 災害に強い地域づくり

継続	橋りょうリフレッシュ事業費	9,449万円			
		(前年度)	1億497万円		
担当課 道路課		電話番号	30-7070		
1. 本市の現状と課題					
住民の安全・安心な生活環境と円滑な交通環境を確保するため、老朽化が進む橋梁の補修を計画的に行い橋梁の長寿命化を推進する必要があります。					
2. 令和2年度事業の内容					
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した橋梁を改修します。					
島尾地内の柳田西15号線2号橋の更新工事を行うほか5橋について補修工事を行います。					
今後補修予定の橋梁について補修設計を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
老朽化した橋梁の長寿命化を推進することによって、住民の安全・安心な生活環境と円滑な交通環境を確保します。					
		(単位:万円)			
財源	国の負担	3,889	経費内訳	工事請負費	7,100
	市債	5,560		委託料	1,800
			その他	549	



柳田西15号線2号橋

拡充	改築事業費[事業会計]	3億円			
		(前年度)	1億2,010万円		
担当課 上下水道課		電話番号	74-8081		
1. 本市の現状と課題					
氷見市環境浄化センターは供用開始から36年が、下水道管渠も古いもので布設から42年が経過しており、施設の老朽化が問題となっています。					
2. 令和2年度事業の内容					
計画的な改築を行うため「ストックマネジメント計画」に基づく詳細調査を行います。また、標準耐用年数の2倍を超過した中央監視設備の更新工事を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
下水道施設の事故発生や機能停止の未然防止とライフサイクルコストの縮減を図ります。					
		(単位:万円)			
財源	国の負担	15,625	経費内訳	工事請負費	22,500
	市債	12,220		委託料	7,500
	一般財源	2,155			



氷見市環境浄化センター

④ 日常生活の安全の確保

継続	消費者行政活性化事業費	314万円			
		(前年度) 309万円			
担当課 市民課		電話番号 74-8010			
1. 本市の現状と課題					
<p>情報通信技術の急速な発展や消費者を取巻く社会環境の変化により、消費者トラブルは多様化・複雑化しています。また、高齢化社会の進展により、高齢者を狙った悪質商法による消費者被害が増加しています。</p>					
2. 令和2年度事業の内容					
<p>消費生活相談員による相談窓口の設置や弁護士による多重債務相談を行うとともに、消費者被害を未然に防ぐために啓発活動と高齢者等に電話の通話録音装置の無料貸出しを行います。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>消費者被害の予防と救済を図り、消費生活相談解決率100%を目指します。</p>					
		(単位:万円)			
財源	県の負担	26	経費内訳	報酬	189
	市の負担	288		社会保険料	40
				その他	85




啓発活動の様子


継続	交通安全対策費	750万円			
		(前年度) 545万円			
担当課 環境防犯課		電話番号 74-8068			
1. 本市の現状と課題					
<p>交通事故のない住みよい社会を作ることは、市民すべての願いです。氷見市では、悲惨な交通事故による犠牲者をなくすために、様々な場で交通安全意識の高揚を図り、事故のない明るい氷見市の実現を目指します。</p>					
2. 令和2年度事業の内容					
<p>交通安全推進事業として、幼児や児童、その保護者、また高齢者などに対し、交通安全教室等を開催し、交通事故に遭わないための知識やマナーを身に付けてもらうとともに、反射材等の普及活動を行い、夕暮れ、夜間の歩行中の交通事故防止を図ります。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>氷見市から交通事故死ゼロを目指します。</p>					
		(単位:万円)			
財源	県の負担	46	経費内訳	委託料	249
	市の負担	704		報酬	198
				その他	303




令和元年度の交通安全啓発活動の様子


④ 日常生活の安全の確保

継続	高齡者運転免許自主返納支援事業費	318万円
		(前年度) 229万円
担当課	環境防犯課	電話番号 74-8068
1. 本市の現状と課題 運転に不安を持つ高齢者が、自主的に運転免許を返納し易い環境をつくり、高齢者による交通事故抑制を図り、市民が安全、安心に暮らすことができる交通社会を推進します。		
2. 令和2年度事業の内容 満70歳以上の市民で、有効期間内のすべての運転免許を自主返納された方に対し、運転経歴証明書の発行手数料と公共交通機関利用費(2万円分)を支援します。		
3. 目標値または実施により求める効果 交通事故の抑制及び公共交通機関の利用促進を目指し、安全で安心な社会環境につなげます。		
		(単位:万円)
財源	市の負担	318
	経費内訳	委託料 318
		

継続	防犯対策費	157万円
		(前年度) 160万円
担当課	環境防犯課	電話番号 74-8068
1. 本市の現状と課題 犯罪は広域化、凶悪化するとともに、その手口が巧妙化しており、実効性のある防犯対策を実施していく必要があります。犯罪のない社会の実現に向け、引続き関係機関・団体と連携した啓発活動やパトロール活動などの各種防犯活動を効果的に実施して、安全・安心なまちづくりを推進します。		
2. 令和2年度事業の内容 氷見市防犯協会へ助成を行うことにより、関係機関・団体と連携した啓発活動やパトロール活動を実施します。また、自治会等を対象とした防犯カメラ設置補助制度を開始し、犯罪発生を抑止と早期解決を図ります。		
3. 目標値または実施により求める効果 犯罪被害の社会を実現することが、究極の目標であり、地域を上げた啓発活動や、パトロール活動を推進することで、犯罪を起こさせない、安全で安心な社会環境につながります。		
		(単位:万円)
財源	市の負担	157
	経費内訳	補助及び交付金 147 負担金 10
		

④ 日常生活の安全の確保

継続	安全なまちづくりセンター設置事業費	20万円
		(前年度) 20万円
担当課	環境防犯課	電話番号 74-8068
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>市民による自主的な防犯活動を推進するとともに、犯罪の防止に配慮した環境整備を促進することで、安全で安心して暮らせる氷見市の実現を目指します。</p> <p>地区の安全なまちづくり推進センター(協議会)の設置及び連携強化を図ります。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>昨年度、氷見警察署と連携して発足した「氷見ながら見守り隊」の推進を図り、市内における防犯意識や地域の見守り活動の強化を目指すとともに、カギかけ防犯啓発や特殊詐欺被害の防止に向けた活動を地区安全なまちづくり推進センターなどと連携しながら実施し、氷見市における安全安心を目指します。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>防犯啓発活動や見守り活動の推進を図ることで、犯罪のない安全で安心なまちづくりを目指します。</p>		
(単位:万円)		
財源	市の負担 20	経費内訳 補助及び交付金 20
		 <p>氷見市防犯マスコット「トボウ」</p>

継続	カラスが住みにくいまちづくり事業費	153万円
		(前年度) 182万円
担当課	環境防犯課	電話番号 74-8065
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>カラスの糞が景観を損ね、路面等の清掃作業が市民の負担となっっています。カラスの糞被害を防ぐため、市民と協働でカラスの住みにくいまちづくりを進めています。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>モデル地区を中心に、市民や関係機関と連携しながら、カラスの糞の清掃除去を実施します。また、ごみステーションで使用する「カラス対策用ごみネット」の支給や追払い機の自治会への貸し出しを行います。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>カラスが集まる原因となるごみ対策や、電線などをねぐらとするカラスの追い払いを行うことで、カラスが住みにくいまちづくりを推進し、カラスの糞被害の減少を目指します。</p>		
(単位:万円)		
財源	市の負担 153	経費内訳 委託料 128 消耗品費 25
		 <p>令和元年度の路面清掃の様子</p>

④ 日常生活の安全の確保

継続	鳥獣被害防止対策事業費		5,739万円		
			(前年度) 5,233万円		
担当課		農林畜産課	電話番号 74-8086		
1. 本市の現状と課題					
市内におけるイノシシなどの野生動物の被害は、集落環境管理や電気柵などの農作物を守る取り組みにより効果はありますが、根本的な解決には至っておりません。					
2. 令和2年度事業の内容					
放任果樹の伐採などの集落環境管理の取り組みを推進・補助するとともに、被害防除のための侵入防止柵の設置についても助成します。また、有害鳥獣捕獲の担い手確保のため、狩猟免許試験手数料及び講習会受講料を補助します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
集落環境管理などの実施により、野生動物の集落周辺への近づきが少なくなり、農作物への被害が減少します。					
(単位:万円)					
財源	基金繰入金	2,720	経費内訳	委託料	3,850
	市の負担	3,019		補助及び交付金	1,254
			その他	635	




イノシシと電気柵


継続	交通安全施設整備事業費		911万円		
			(前年度) 294万円		
担当課		道路課	電話番号 30-7070		
1. 本市の現状と課題					
交通事故の危険性が高い箇所について、交通事故を未然に防止するため、反射鏡や防護柵等交通安全施設を整備する必要があります。					
2. 令和2年度事業の内容					
鞍川他2地内に防護柵の設置を行うほか、十二町地内に歩道の整備を行います。					
地区からの要望で危険な箇所に反射鏡や防護柵を設置します。					
JA中央共済会から寄付を受けた反射鏡を、見通しの悪い箇所に設置します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
交通安全施設を整備することにより、交通事故の減少に努めます。					
(単位:万円)					
財源	市債	690	経費内訳	工事請負費	911
	市の負担	221			



防護柵(ガードレール)の設置

④ 日常生活の安全の確保

継続	交通安全施設営繕費		321万円
			(前年度) 628万円
担当課		道路課	電話番号 30-7070
1. 本市の現状と課題			
老朽化あるいは損傷の激しい交通安全施設については、速やかに修繕を行う必要があります。			
2. 令和2年度事業の内容			
防護柵の補修や区画線の引き直しなど、交通安全施設の修繕を随時行います。			
3. 目標値または実施により求める効果			
老朽化や損傷の激しい交通安全施設を更新することにより、交通環境の安全性を確保します。			
(単位: 万円)			
財源	市の負担	321	経費内訳
			修繕料 321
			 <p>区画線の引き直し</p>

継続	街灯新設等事業費		407万円
			(前年度) 404万円
担当課		道路課	電話番号 30-7070
1. 本市の現状と課題			
犯罪のない安心・安全な街づくりを推進するため、夜間照明が不足する歩道等に街灯を設置する必要があります。			
2. 令和2年度事業の内容			
地区からの要望に応じて、防犯灯の設置を行います。			
3. 目標値または実施により求める効果			
夜間照明を確保することにより、犯罪のない安心・安全な街づくりを実現します。			
(単位: 万円)			
財源	市の負担	407	経費内訳
			工事請負費 404
			光熱水費 3
			 <p>防犯灯の設置</p>

④ 日常生活の安全の確保

継続	街灯維持管理費		3,775万円
			(前年度) 3,722万円
担当課	道路課	電話番号	30-7070
1. 本市の現状と課題			
住民に安全な暮らしを提供するため、街灯の適正な維持管理を行う必要があります。			
2. 令和2年度事業の内容			
市内の街灯の適正な維持管理を行います。			
3. 目標値または実施により求める効果			
歩行者の夜間の安全性を確保するため、街灯の維持管理を行います。			
		(単位:万円)	
財源	市の負担	3,775	経費内訳
			光熱水費 2,272
			使用料及び賃借料 1,053
			その他 450



破損した街灯の取替

新規	道路照明灯LED更新事業費		900万円
			(前年度) -
担当課	道路課	電話番号	30-7070
1. 本市の現状と課題			
道路照明や街路灯などに利用されている灯具は、水銀ランプ等が主な光源であり市内に約580基設置されています。水銀ランプは生産中止となっており、球切れの際は灯具自体をLEDランプ対応のものへ取替えています。			
2. 令和2年度事業の内容			
幹線道路を中心に、設置年度の古いものから順番に30基の取替を計画しています。			
3. 目標値または実施により求める効果			
LEDランプへ交換することにより、ランプの長寿命化及び電気料金の削減を図ります。			
		(単位:万円)	
財源	市の負担	900	経費内訳
			工事請負費 900



LED化した道路照明灯